

理研会報

発行日：令和2年3月23日
号数：No. 403
発行：印旛地区教育研究会理科研究部
HP：http://rikainba.com
メール：rikainba@yahoo.co.jp

★★

年度末は人事異動の時期。理科研究部の理事の先生方の中にも今年末をもってご勇退される先生方がいらっしゃいます(右記参照)。理研会報403号では、4名の先生からメッセージいただきましたので掲載いたします。

本年度退職される理事の先生方
富里市立根木名小学校長 岡 清志先生
白井市立大山口中学校長 佐々木 猛先生
成田市立新山小学校教頭 小泉三智雄先生
佐倉市立井野中学校教諭 片岡 勤先生

理科研究部に関わって

富里市立根木名小学校 岡 清志

教員免許は社会科です。2校目の時に校務分掌で理科主任になり理科専科を経験したことが、理科研究部と関わったきっかけです。3校目の時も理科主任で、印教連の理科の研究指定校に併せて、4部会の研究部長にもなり、理科研究部との関わりも日に日に深くなっていました。

専門的な事もよくわからず、印教研の提案には苦勞した思いが脳裏をよぎります。ただ、理科研究部の皆さんと協力し、いろいろな取り組みをする中で、若い先生方がたくさん集まって何事も前向きにできたことが一番の宝でした。印教研の懇親会にも多くの先生方が参加してくれるようになりうれしかったです。

さて、朝陽小学校で印教連の指定を受けたとき、まず何からするか。すぐにやり始めたのは理科室の整備でした。子供たちも先生方も分かりやすく使いやすい理科室作りを心掛けました。次に、魚の観察コーナーや実験体験コーナーを作り、子供たちに興味関心を持ってもらえるようにいろいろな仕掛けをし、喜んでもらいました。

時間もお金もかかり、担任をしながらの理科室整備は決して楽ではありませんでしたが、子供たちの協力もあり、わかりやすく使いやすい理科室を常に保てたと思います。そして、実験技能が高く、理科好きな子供たちがたくさん育ちました。今振り返れば、楽しく、おもしろく、充実した日々でした。

理科研究部の皆様には、長きに渡り大変お世話になり、本当にありがとうございました。

ありがとうございました

白井市立大山口中学校 佐々木 猛

2月28日突然にして今学期に終止符が打たれました。それぞれに様々な思いがあったことでしょう。もっとこうすれば良かったと後悔した先生方もいたことでしょう。以前は、子供たちに日々元気を与えていたと思っていたはずの私たちでした。しかし、子供たちのいなくなった学校では、日々、逆に元気をもらっていたのだなああと気づかされました。当たり前のことが当たり前でなくなって、謙虚な気持ちになれたのなら、今度子供たちを迎えたときに、いい指導、いい授業ができるはずです。そうした時間が与えられたのだとポジティブに考えたいです。これから、謙虚に子供たちに向き合える先生方にエールを送りたいと思います。

突然といえば、平成19年県立現代産業科学館に上席研究員として勤務することになったときは、随分と驚きの連続でした。初めは、誰も知り合いのいない職場に心細い毎日でした。そんな時、先輩の先生からの一言が今でも忘れません。「どんな職場でも、明るく、元気にしかも自分も楽しくやらないと良い仕事はできない。」と言われ、奮起したことを覚えています。その時の経験は、その後の職場に大いに生かされたことも事実です。

科学館では、企画展に向けて、展示物の借用などで、関東近県はもちろんのこと、大阪や愛知まで、精力的に出かけました。いまでも、土日に実施している常設のサイエンスステージがあります。そこに、当時、一年かけて制作した人形劇「キュリー夫人と放射線」というのがあります。偉大な科学者キュリー夫人の伝記と簡単な実験を交えたステージです。機会がありましたら、観覧してみてください。

そう言えば、教員生活の三分の一を行政機関で過ごし、その際には多くの理科の先生方に助けて頂きました。最初は、印西市でかつて行われていた夏期休業中の小学校学年別理科実技研修会です。小学校の先生方に講師になっていただき、学年別に実験を一緒に考えながら行った研修会は、今でも忘れることができません。多くの先生方と会場校の先生方に支えられながら実施できたことに大いに感謝しています。

その10年後には、小学校教員の初任者研修の一環として、理科実技研修会が実施されることになりました。高校を会場にして、小、中、高校の理科の先生方が講師となって、夏期休業中に行いました。この時も、理科の先生方には、本当にお世話になりました。

また、平成25年と28年の研究部長として関わった際には、教研集会をはじめ理科作品展、千教研の研究発表大会の提案者、司会者、助言者等々、多くの先生方にお世話になりました。印教研での若い先生方の提案、さらには県教研、全国教研に進んだ先生方のご活躍に嬉しさと頼もしさを感じたことが思い出されます。

最後に、こうして考えると、本当に周りの先生方に支えられての教員生活だったと思います。多くの先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、印旛理科教育は不滅です。本当に、ありがとうございました。

理科好きな子どもに育てたい！

成田市立新山小 教頭 小泉三智雄

38年間の教員生活、大学卒業後初任から理科主任になり、印教研では理科学研究部に所属し3部会の理科学研究員として先輩方にいろいろ教えてもらいながら研究員活動を続けました。(途中9年間、社会教育主事になり現場から離れました。)この原動力になったのは、私自身が理科好きだったからです。それは栃木県那須郡小川町の小川中学校(小川町は平成の市町村合併で隣町の馬頭町と合併し現在は那珂川町になりました。)の2、3年で担任だった村上文郎先生が理科の先生の影響です。先生の理科の授業がとても楽しく(フィールドワークや実験が多かった)、私が理科好きになったこと、また教師になった大きな理由です。

教師の仕事は「人を育てる」ことです。日々の授業、生活で様々なことを指導し、その学年に応じた学習内容やスキルを身につけさせています。教え子たちは大なり小なりその教師の影響を受け成長していきます。自分自身がそうであったので、このことは常に意識してこの仕事を続けてきました。みなさんにはこれからも、ぜひ、理科好きな子どもをたくさん育ててほしいと思います。

退職にあたり、同じ理科学研究部と一緒に印旛の理科教育を支えてきたみなさん。長きにわたりお世話になり、ありがとうございました。この理研会報も403号という素晴らしい歴史を紡いできました。これからIT, AIなど情報や科学の進歩はめざましく機械にとってかわられる仕事も多くなる時代です。だからこそ、教師の仕事は大きな責任があります。今後の皆さんのご健勝とご活躍、印教研理科学研究部のますますの発展を祈念し退職のあいさつといたします。

より良い理科を作り上げてみませんか

佐倉市立井野中学校 教諭 片岡 勤

今から38年前の4月のある日、理科準備室で明日の授業を準備していた私は、本橋先生から「片岡先生お茶を8人分用意してくれないか」と頼まれ、理科室に集まっていたお客さんたちに、お茶を入れて持っていきました。何の会議をしていたのか全く知らなかった私は、お茶を配って準備室に戻ろうとしたとき、さらに本橋先生から「片岡先生そこに座って」と言われ、何がなんだか分からず座ったときが教研病にかかってしまった瞬間でした。

当時の一部会では力学を中心に指導方法の検討をしていたのですが、私は丁度そのとき一年生を指導していて、合力を理解させるのに押しバネばかりがあるといいなと考えていました。話し合いがこの私の考えを中心に話が進んでしまい、あれあれという間に全国教研に参加することになってしまいました。

私も決して最初はやる気を持って参加したわけではなかったのですが、自分の考えが認められ、具体的な形になっていくに従ってのめり込んでしまったのです。

皆さんの中には教研の活動に参加したことのない方や、あまり関心のない方も多いと思いますが、一度参加してみませんか。また、今参加している方は、若い先生を誘ってみませんか。やってみると意外とはまるかもしれませんよ。みんなでより良い理科を作り上げてみませんか。

お知らせとお願い

- ・例年新年度の印教研総会の後の懇親会が、歓送迎会を兼ねております。今回退職された諸先輩方からお話をうかがうチャンスです。多くの先生方に参加していただくと幸いです。よろしくお願いたします。(これからの状況次第で変更もありえます。後ほど連絡させていただきます)
- ・学校現場を離れ行政等に異動された先生方が把握しきれず、ご迷惑をおかけすることがあります。大変お手数ですが、異動先を理科研究部へお知らせいただくと助かります。理科研究部へのメール (rikainba@yahoo.co.jp) または成田小学校 (TEL 0476-22-1334 FAX 0476-22-1335) 伊橋まで直接お知らせください。ご協力お願いいたします。

理研会報も本年度の最終号となりました。発行が遅れたことをお詫びいたします。多くの先生方に記事をお寄せいただき、理研会報を発行できました。今までのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いたします。